



中高生写真生活応援マガジン

TopEye

boys & girls photo magazine

No.309

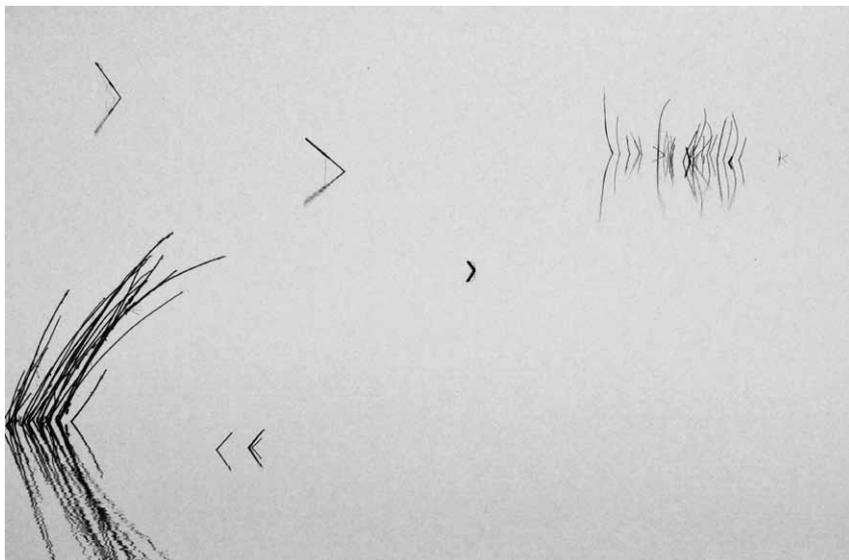
2021

春号



「冬」松崎 柚

[東京都立総合芸術高等学校 1年]



各地の写真仲間の「今」をシェア！

写真部レポート

3つの県の写真部が
オンラインで
「練習試合」開催！

福井県立丹生高等学校
香川県立坂出商業高等学校
出雲北陵高等学校(島根県)

[TopEyeフォトコンテスト]受賞作品
(一部)の鑑賞や誌面のダウンロードが
できます。ぜひご覧ください！

ニコ トップアイ

検索



2020年度 195回 TopEye フォトコンテスト

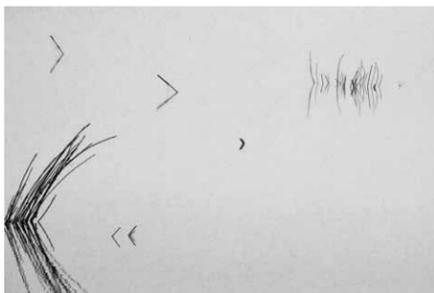
応募作品数
1,647点

TopEye賞



賞品
・Z 50 16-50VRレンズキット
・賞状

表紙に大きく載ってるよ!!



「冬」松崎 柚

東京都立総合芸術高等学校 1年

- D5100
- AF-S DX18-55mm (3枚とも)
- Aオート (f/25、f/25、f/20)
- 露出補正：-1.7EV (3枚とも)
- ISO4000 (3枚とも)

1年生とは思えない堂々とした作品に、我々審査員も早々に受賞を決めることができました。冬をテーマに置いて組写真で構成しましたが、張り詰めた空気と静寂が作品から感じられました。3枚それぞれの被写体を撮り分けながら一本の軸があるように感じられます。構図のバランス、特に「間」のとり方が秀逸で緊張感すら感じる美しさを生んでいます。作品の表現としっかりとしたプリント、用紙選択もマッチしており、総合的な表現が完成されているように思います。(熊切)

第195回 TopEye賞 受賞

松崎 柚さん

受賞のコトバをどうぞ!!



この度は、TopEye賞に選んでいただきありがとうございます。まさか自分がこのような賞を頂けるとは思っていなかったのが本当に驚きました。この写真は冬の冷たい空気感を表現しようと思いい、モノクロで撮影しました。このような素晴らしい賞を頂いたのも、ご指導いただいた先生方のおかげです。これからも写真を撮り続けていきたいです。本当にありがとうございました。

準 TopEye賞

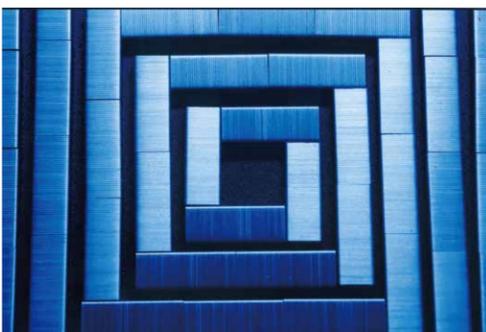


賞品
・ニコンデジタルコンパクトカメラ W300 BK (ブラック)
・賞状

「潜む」 穴戸 貴也

宮城県白石工業高等学校 3年

- デジタル一眼レフカメラ
- 18-55mm (4枚とも)
- M(0.4秒・f/22、1/200秒・f/4、1/10秒・f/16、0.6秒・f/22)
- ISO200、800、400、400



身近な被写体の極致、高校生らしく文房具に目をつけた所にニヤリとさせられました。それ単体では決してフォトジェニックでは無いものを、整然と並べる事によってデザイン的美しさを魅せつつ、ただ置いて撮るのではなくリズムを変えた並べ方によって、その表情に大きな変化をもたらしています。色味の統一感も非常によく効いています。テーブルフォトも作品になりうる事を証明してくれました。(熊切)

モラルを守りつつ「今」を捉えていこう

年1回のコンテストは、いわば1年の総まとめ。初めてカメラを通して世界を見た興奮、シャッターを切る素直な喜びを改めて感じました。コロナ禍の中、友達と撮影を楽しむ機会が減った反面、自分を見つめ、作品に活かした人も多くいることでしょう。写真は被写体と共に、場の空気感や気持ちも刻み込みます。今後も写真を通し、それぞれの「今」を考えていきましょう。ところでこのコンテストには、生き物を捉えた作品も寄せられますが、世の撮影者の中には、演出のため自然の姿に手を加える残念な例もあるようです。それが明らかな作品は議論の上、審査から外しています。自分の写真がモラルに沿っているか、問い続けることも忘れてください。

審査員 藤岡 亜弥

広島県生まれ。日本大学芸術学部写真学科卒業。主な作品に、「さよならを覚えて」「私は眠らない」国内外での個展など多数。2017年に出版した写真集「川はゆく」で伊奈信男賞、林忠彦賞、木村伊兵衛写真賞受賞。



こんな時期こそ、身の回りの題材に目を向けよう

年に1回の審査となり、以前より幅広い作品が集まった印象です。カメラを始めたばかりのようなフレッシュな作品から、しっかりと練り込んだ秀作までバラエティに富んだ作品を拝見する事ができました。新型コロナウイルスの蔓延により写真を撮影することはもちろん、外出することもままならない状況が続いております。そんな厳しい環境の中、身近な題材に目を向けた作品を多く見る事ができました。身の回りの出来事もその切り撮りや光の扱い方、カメラの機能を活かせば楽しく表現できる事に気づいた方が多かった様に感じられました。

審査員 熊切 大輔

東京都生まれ。東京工芸大学を卒業後、日刊ゲンダイ写真部に入社。その後フリーランスの写真家として独立。広告や雑誌などで「人」が生み出す瞬間・空間・物を対象に撮影する。公益社団法人日本写真家協会理事

入選

賞品

- ・ニコンオリジナルグッズ FLX トートバッグ
- ・賞状



「紅く染まれ」熊谷 美咲

栃木県立鹿沼商工高等学校 2年

- D3400 ●AF-P DX35mm (3枚とも)
- Aオート (f/6.3、f/5、f/5.6) ●ISO250 (3枚とも)



たった3枚で1時間半の青春ドラマを観たような気分になりました。丁寧に構成された組写真です。秋の恋愛を「紅く染まれ」と表現したタイトルもいい。スマホで女の子を撮る男子生徒の視線を入れたことも効果的でした。(藤岡)



「一寸光陰」和田 陽里

近畿大学附属高等学校 (大阪府) 2年

- デジタル一眼レフカメラ ●18-55mm
- Aオート (f/4.5) ●露出補正：-2EV ●ISO100

「学校の屋上で雨上がりに撮影した」とのこと。まるで簡単に撮ったかのようなコメントですが、画面の構成もしっかり整理されています。放課後の柔らかい光、水面のきらめき、雨上がりの雲、背景のボケ感や色合いなどがうまく組み合わせられ、幻想的な小宇宙を作り出しました。(藤岡)



「明日もあなたと。」伊部 瑠華

新潟県立長岡農業高等学校 1年

- D5600 ●AF-P DX18-55mm
- オート ●ISOオート

カメラを向けられて、照れながらもうれしそうな二人の表情。いいシャッターチャンスを見取りました。モノクロの色調もよかったです。ほのぼのとしていて気持ちがあたたかくなる一枚です。(藤岡)



「ノスタルジック」藤本 愛永

香川県立坂出商業高等学校 2年

- デジタル一眼レフカメラ ●18-55mm
- Sオート (1/200秒) ●ISO3200

なんとコミカル!まず柱が効いています。画面が柱で分割され漫画の一コマコマのようです。おじいさんのサービス精神などもあり、家族ならではの微笑ましい写真です。このシリーズをいろんなバージョンで発展させていくとおもしろいかも? (藤岡)



「期末考査(ラストサバイバル)」石田 智千都

群馬県立富岡実業高等学校 2年

- D500 ●1・2・4枚目：AF-P DX10-20mm、3枚目：AF DX Fisheye 10.5mm
- M (1/250秒・f/11) (4枚とも) ●ISO100 (4枚とも)

舞台づくり、演出、構図、ライティング、演技力、すべてが完璧に思われます。漫画のようなストーリーもとてもおもしろい。この学校は毎回いろんなパターンがあり、百戦錬磨という感じです。今回の応募作品にも、部員が力を合わせた名作がたくさんありました。(藤岡)



「日々精進」森本 羽音 和歌山県立神島高等学校 1年

「skyhigh」増谷 理子 帝塚山学院中学校高等学校 (大阪府) 高校 1年



「私はカメレオン」佐藤 里奈

宮城県迫桜高等学校 1年
●D750 ●90mmマクロ ●M(1/5秒・f/22) ●ISO2000

「蓮の主」村松 尚都

愛知県立津島東高等学校 1年
●デジタル一眼レフカメラ
●1・3枚目：18-135mm、2枚目：70-200mm
●M(1/200秒・f/7.1、1/3000秒・f/3.5、1/400秒・f/7.1) ●ISO1250、2000、1250



「明暗」西田 順哉

関市立関商工高等学校(岐阜県) 2年
●デジタル一眼レフカメラ ●18-55mm
●Aオート(f/7.1) ●ISO100



「父と猫」奥山 さくら

東京都立八丈高等学校 2年
●デジタル一眼レフカメラ ●40-150mm
●M(1/200秒・f/5.5) ●ISO320



「13歳」岡田 日向

大阪府立四條畷高等学校 2年
●デジタルAPS-Cコンパクトカメラ
●18.5mm ●Aオート(f/3.6)
●ISO250



「ほうきに乗って大空へ」高木 優衣

香川県立坂出高等学校 1年
●デジタル一眼レフカメラ ●55mm
●M(1/125・f/16) ●ISO100



「Shall we dance？」石川 悠乃

神奈川県立瀬谷高等学校 1年
●D5600 ●AF-P DX10-20mm ●Sオート(1/5秒)
●露出補正:+1.3EV ●ISOオート



「1 おじ 3 ヤギ 4 おケツ」大城 聖南

沖縄県立浦添工業高等学校 3年
●デジタル一眼レフカメラ ●18-135mm
●M(1/500秒・f/7.1) ●ISO100

「空の下で」越本 悠里

和歌山県立神島高等学校 1年
●D5200 ●AF-S DX18-55mm(4枚とも)
●Aオート(f/5.6、f/6.3、f/8、f/6.3)
●露出補正:-1.7EV、-2EV、-1.7EV、-1.3EV
●ISO160、125、640、160

佳作

賞品

●ND オリジナル
リバーシブルポーチプロ
●賞状



「愛しい孫」瀧本 乙華
香川県立坂出商業高等学校 2年



「出番待ち」河合 美空
東京都立総合芸術高等学校 2年



「入れ替わって…?!」三ツ木 夢夏
群馬県立富岡実業高等学校 2年



「雲海を泳ぐ」山脇 光生
広島県立庄原格致高等学校 2年



「星降る夜に。」岡 優成
千葉県立四街道高等学校 3年



「猪突猛進」原田 陽蘭梨
神奈川県立瀬谷高等学校 2年



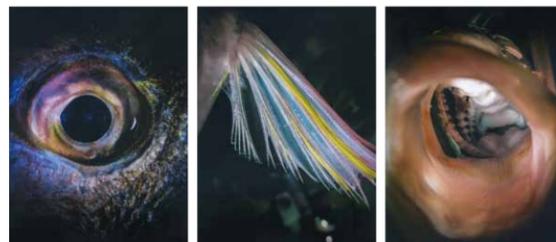
「凧と立つ」山野 創太
広島県立賀茂高等学校 2年



「風に吹かれて」藤野 光一郎
近畿大学附属高等学校(大阪府) 3年



「もっと騒ぎたい!!」中村 真梧
中越高等学校(新潟県) 2年



「撞乱」黄 梦瑶 帝塚山学院中学校高等学校(大阪府) 高校1年



「ワープスター」大田 築
中越高等学校(新潟県) 2年



「アウトサイダー」太田 優李
千葉県立四街道高等学校 2年



「ノルカそるか」田中 来武
沖縄県立那覇工業高等学校 3年



「陰の輝き」渡辺 浩平
鳥根県立益田高等学校 2年



「じゃんぶ」東 泉里
香川県立坂出高等学校 1年



「弱肉強食」濱田 夏姫 八代白百合学園高等学校(熊本県) 1年



「蜜柑の行く道」越智 聖悟

愛媛県立今治北高等学校大島分校 1年
●デジタル一眼レフカメラ
●18-135mm(3枚とも)
●Sオート(1/400秒、1/2000秒、1/2500秒)
●露出補正:-1EV、+0.7EV、-0.7EV
●ISO1000、6400、6400

入賞作品を生で鑑賞しよう! TopEyeフォトコンテスト写真展

今号で発表した入賞作品を、準佳作まで一挙展示します。全国の仲間の写真パワーをじかに感じに来てくださいね!

ニコンプラザ東京 THE GALLERY

3月9日(火)~15日(月)

ニコンプラザ大阪 THE GALLERY

3月25日(木)~31日(水)

第69回ニッコールフォトコンテスト 第4部 TopEye&Kids

18歳以下専門部門

応募期間：3月11日(木)~7月6日(火) 必着!

ニコンの「夏のコンテスト」3月から作品募集が始まります。ぜひ奮ってご応募ください!

応募資格 18歳以下(2021年7月末現在)
使用機材自由/テーマ自由/応募点数制限なし
※ご応募の時点で保護者の同意を得られたものと判断させていただきます。

大賞 賞品 ニッコール大賞
10万円相当
「ニコンダイレクト」
商品券

主催：ニッコールクラブ
コンテスト概要や応募規定は、今回同封したご案内か下記のサイトで必ずご確認ください。
www.nikon-image.com/activity/nikkor/ncpc/

同封した
ご案内を
ご確認ください!



3県をオンラインで結ぶ写真交流

福井県立丹生高等学校

香川県立坂出商業高等学校

出雲北陵高等学校(島根県)

フォト・ウィンターカップ2020 《友情校 練習試合》

今は自由な活動も遠征も難しいけど、写真を撮りたい、腕を競いたい！そんな中、福井・香川・島根3県の写真部がなんとオンラインで「練習試合」を開催！皆さんの活動のヒントにもなりそうな今回の試合。方法も含めてレポートします。



対戦校のほか、5校がオンラインで見学！

宮城県白石工業高等学校 / 愛知県立津島高等学校 / 香川県立大田高等学校 / 八代白百合学園高等学校(熊本県) / 沖縄県立知念高等学校

こんな感じで、にぎやかに各校集合！

運動部の「団体戦方式」をアレンジ！

今回の試合は、香川県の高文連写真専門部が19年度から始めた「フォト・ウィンターカップ」がベース。運動部の団体戦のように5人チームで対戦し、審査員の判定で勝者を決める方式です。参加8チームを2つのグループに分け、予選リーグの上位3チームで決勝を行いました。

出場チーム (1チーム5人編成)

作品は試合前日までに準備し、データ提出。(リーグ戦+決勝用に1人4作品)

丹生 3チーム 坂商 3チーム 出北 2チーム

各校のキャラは丹生高の竹内よしのさん作！

1対1の作品対決で予選リーグ！

先鋒	丹生 A	坂商 C	出北 B	坂商 B
次鋒	丹生 B	坂商 A	出北 A	坂商 C
中堅	丹生 C	坂商 B	出北 C	坂商 A
副将	丹生 A	坂商 C	出北 B	坂商 B
大将	丹生 B	坂商 A	出北 A	坂商 C

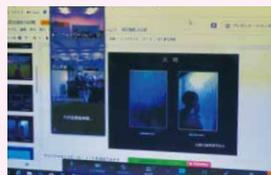
全チームの勝ち数を比べて上位3チームを選出

上位3チームで決勝戦！

丹生 A 出北 B
丹生 C

オンラインだけど熱い交流！

Zoomを利用し、各校教室から生中継で作品プレゼン。「ずっと大会も交流もできなかったので、リアルな大会くらい熱くなれた！」という声も。参加校のほか、全国5校の写真部がギャラリーとして対戦を見守りました！



作品はモニターに表示。単写真・組写真問わず、力作を出品！



プレゼンはもちろん立って堂々！



発表の順番にもこだわってじっくり話し合い！



発表者には拍手でエール！

専門家の審査と生徒の投票で賞を決定！

運営を主導した丹生高の依頼で、福井県の写真やアート専門家が審査員となり、チーム賞を決定。そのほか、参加校とギャラリー校の生徒による投票で、個人賞の「BestPhoto賞」も選出。



チーム対決 審査員
谷口 晃隆 さん (全日本写真連盟福井支部)
山口 康二郎 さん (福井県在住アーティスト)
高橋 良典 さん (福井県在住写真家)



優勝した「丹生A」チーム。



色付きクリップボードで勝敗を判定！



個人賞は生徒の投票で決定！

気になる作品に対する「アドバイス票」も試合後に交換しました！



準優勝の「出北B」チーム。



Best photo賞は「坂商C」チームから。

賞品は各県の名物！
出雲北陵高から「のどぐろセット」
坂出商高から「うどん」25人分！
全日本写真連盟から「優勝せんべい」&賞状

今後の発展に期待！！

参加校それぞれ、今後への手応えがあった様子。ディスタンスを守る生活はしばらく続きそうですが、この試合のアイデア「使える！」と思いませんか？いろいろな学校で地方を越えて「試合やろうよ！」の声が湧き上がることに期待！！

福井県立丹生高等学校の声！



部長 向當 和莉 さん

大会実施が難しい中、Zoomを使って他校の写真部と試合をすることができました。各学校が作品を発表し合うことで、より深く学ぶことが出来ました。このような交流が広がってほしいと思います。

顧問 竹内 祐子 先生

コロナ禍で不自由なことも多いと思いますが、新しい試みとしてZoomで大会が開催出来て本当に良かったです。写真を通して人生の学びを深めていきたいと思っています。

香川県立坂出商業高等学校の声！



部長 瀧本 乙華 さん

今回の試合で、自分たちに足りないものを沢山見つけることができました。これからはそうした課題に取り組み、多くの人が感動するような写真を撮りたいと思います。

顧問 小山 晃俊 先生

オンラインの練習試合は初の試みでしたが、大きな手応えを感じました。生徒それぞれが自分の写真と向き合い、他校との交流もできるので、活動の活性化につながる可能性があります。

出雲北陵高等学校の声！



部長 大江 日向人 さん

練習試合では、本番のように熱く盛り上がりました。自分達で思いつかないような構図や色づかいの作品も多く、勉強になりました。この経験を今後の作品制作に活かしていきたいと思っています。

顧問 村上 学 先生

久しぶりに写真に夢中になっている部員たちに、胸が熱くなりました。他校の生徒さんたちの作品に触れて、みな何かを感じ取ったようです。試合直後は全員の心に火が灯っているのを感じました。

大募集！！

あなたの部の写真活動をレポートしてください！

全国にアピールしたい貴部の活動について、メールで概要をお送りください。

後日ご連絡し、記事候補として取材させていただきます。

①学校名 ②クラブ名 ③顧問の先生のお名前 ④ご連絡先電話番号をご記入の上、下記のEメールアドレスまで！

「TopEye」へのお問い合わせはこちらまで。

ニコントップアイ編集部 (株式会社ニコンイメージングジャパン)

E-mail: topeye@nikon.com

TEL: 03-6718-3020

次号は
6月14日 発行予定です！